

大統領選挙から見えるアメリカの動き： 問われる選挙の正当性

アメリカ合衆国の大統領選挙は1789年の第1回から2024年で60回を数えます。

連邦制のアメリカは大統領選挙に国全体の姿が色濃く反映されています。

多様な利害に分かれる人民が参加するためどうまとめるか、分裂に終わるのか。

社会で価値の分断が激しい2024年選挙は妥協で分権に向かうのか、

当選した大統領を認めない内乱に向かうのか、重大な岐路にあるアメリカを考えます。

—報告者—

金井 光太郎 氏（東京外国語大学名誉教授）

—司会—

若松 邦弘 氏（東京外国語大学教授）

2024年3月11日 月曜日

16:00~17:30 (90分)

※Zoomオンライン研究会

主催：東京外国語大学
国際関係研究所



www.tufs.ac.jp/common/fs/iir/



iir-office@tufs.ac.jp (国際関係研究所事務局)